

## 平成26年度当初予算案の概要

神 崎 町

### 1. 基本的な考え方

- 「神崎町第4次総合計画」の着実な推進を持続的に図るため、事業の優先度、重要性について十分に検証し、確保できる財源に応じた予算規模とすること。
- 圏央道神崎IC～大栄JCTの平成27年の開通にあわせ、町の活力を生み出す地域基盤づくりとなる「道の駅整備関連事業」に重点配分すること。
- 予算配分の硬直化を防ぐ観点から、従来の「枠配分方式」から「ゼロベース積み上げ方式」によるものとし、これまでの事業効果や決算・執行状況などを分析し、真に必要な経費を改めて精査すること。
- 国の補正予算の対象事業については、3月補正への予算前倒しにより有効活用を図ること。

を基本的な考え方として、平成26年度当初予算を編成しました。

### 2. 予算規模（一般会計）

31億7,200万円 <対前年比7億400万円（28.5%）増>

〔歳入内訳〕

町税	6億6,686万1千円
地方譲与税	2,700万円
各種交付金	8,657万円
地方交付税	10億2,300万円
分担金・負担金	6,325万7千円
使用料・手数料	1,893万4千円
国庫支出金	2億4,640万1千円
県支出金	1億7,674万6千円
町債	1億9,930万円
（うち臨時財政対策債	1億3,000万円）
繰入金	5億3,133万4千円
（うち財政調整基金繰入金	5億2,027万8千円）
その他	1億3,259万7千円

〔歳出内訳〕

議会費	5, 1 2 3 万 6 千円
総務費	4 億 4, 8 4 2 万 3 千円
民生費	7 億 1, 8 0 2 万 7 千円
衛生費	2 億 2, 6 5 8 万 4 千円
農林水産業費	7, 4 4 2 万 5 千円
商工費	4 億 9, 9 8 9 万 4 千円
土木費	2 億 4, 6 5 6 万 1 千円
消防費	1 億 9, 9 4 2 万 8 千円
教育費	2 億 7, 9 7 4 万 6 千円
災害復旧費	1 億 6, 3 0 0 万 2 千円
公債費	2 億 4, 9 5 9 万 1 千円
その他	1, 5 0 8 万 3 千円

### 3. 歳入の特徴（おもな増減）

- ① 町税は、法人町民税の減収を見込んで、2,220 万円の減となっています。
- ② 各種交付金のうち地方消費税交付金については、税率引上げにより 1,100 万円の増を見込んでいます。なお、地方消費税引上げによる増収分は、全額社会保障費の財源に充てています。
- ③ 地方交付税は、震災復興特別交付税等の増額により、1 億 4,315 万 1 千円の増を見込んでいます。
- ④ 国庫支出金は、道の駅駐車場及び町道等の整備に充てる社会資本整備総合交付金が増加するほか、臨時福祉給付、子育て世帯臨時特例給付、番号制度システム整備などの補助事業が増加するため、7,958 万 8 千円の増となっています。
- ⑤ 県支出金は、道の駅施設への太陽光発電システムの導入など、県補助制度を活用する事業の増により、5,418 万 2 千円の増となっています。
- ⑥ 繰入金のうち財政調整基金繰入金については、地域交流拠点施設（道の駅）整備事業など投資的経費の財源とするため、4 億 2,077 万 4 千円の大幅な増となっています。
- ⑦ 町債については、前年度から引き続き、臨時財政対策債、緊急防災・減災事業債（デジタル防災行政無線改修事業、小型ポンプ積載車更新事業）の発行を見込んでいます。

#### 4. 歳出の特徴（おもな新規事業・主要事業）（●は重点事業）

① 総務費	
・町制 60 周年記念町勢要覧作成事業【新規】	324 万円
・町民カレンダー制作費【新規】	129 万円
・社会保障・税番号制度導入準備事業【新規】	356 万 4 千円
② 民生費	
・臨時福祉給付（簡素な給付措置）【新規】	2,412 万円
・子育て世帯臨時特例給付【新規】	741 万 4 千円
・子ども子育て支援法施行準備事業【新規】	371 万 4 千円
・保育所入所児子育て助成金事業	822 万 2 千円
③ 衛生費	
・子ども医療費助成事業	1,751 万 3 千円
・健康相談ダイヤル 24 事業	134 万 6 千円
・住宅用太陽光発電設備導入促進事業	240 万円
・次世代自動車充電インフラ整備促進事業【新規】	809 万 8 千円
④ 農林水産業費	
・新規就農総合支援事業交付金【新規】	150 万円
・6 次産業化支援事業補助金【新規】	96 万 7 千円
・自給率向上事業（加工用米等助成金）	100 万円
⑤ 商工費	
●地域交流拠点施設（道の駅）整備事業	4 億 9,154 万 4 千円
⑥ 土木費	
●町道維持修繕工事（小松 356 号線ほか）	3,095 万 9 千円
●道路ストック総点検調査事業【新規】	2,123 万 5 千円
・橋梁長寿命化修繕事業（設計）【新規】	650 万円
●町道成田神崎線整備事業	3,509 万 1 千円
●道の駅駐車場整備事業	9,102 万 5 千円
	（※3 月補正予算に 2 億 20 万円を計上。合計 2 億 9,122 万 5 千円）
⑦ 消防費	
・小型ポンプ積載車更新事業	928 万 8 千円
●デジタル防災行政無線改修事業	6,010 万 2 千円
・町有建物耐震診断事業【新規】	1,917 万 7 千円

⑧ 教育費

- 米沢小学校空調設備改修事業 4,689 万円
- ・小学校体育館非構造部材耐震化事業（設計）【新規】 435 万 9 千円
- ・中学校施設修繕工事（校庭フェンスほか）【新規】 623 万 2 千円
- ・学校給食費助成事業 980 万 7 千円

⑨ 災害復旧費

- 水道事業に対する繰出金（浄水場移転復旧事業分） 1 億 6,300 万円

5. 特別会計・公営企業会計

- ・国民健康保険事業特別会計 7 億 8,900 万円 <前年比 2,200 万円（2.9%）増>  
うち保険給付費 5 億 1,973 万 2 千円
- ・介護保険事業特別会計 4 億 5,200 万円 <前年比 2,830 万円（6.7%）増>  
うち保険給付費 4 億 2,321 万 2 千円
- ・後期高齢者医療特別会計 6,300 万円 <前年比 460 万円（7.9%）増>  
うち後期高齢者医療広域連合納付金 5,876 万 6 千円
- ・水道事業会計 収益的 収入 2 億 2,209 万 4 千円 支出 1 億 9,116 万 2 千円  
資本的 収入 5 億 746 万 9 千円 支出 5 億 6,094 万 3 千円